

「施設及び事業の概要」
「意見交換事項の概要」

説明資料

2. 施設及び事業の概要

(1) 施設設置の経緯

2. 施設及び事業の概要 (1) 施設設置の経緯

- 1955年(S30年) 武蔵野市と三鷹市で武蔵野三鷹地区保健衛生組合を設立
- 1958年(S33年) ふじみ焼却場を三鷹市新川に建設、共同でゴミ焼却を開始
- 1970年(S45年) 隣接の調布市民から煙、騒音等公害防止の陳情（人口増加とともにゴミが激増）
- 1971年(S46年) 炉の操業停止を求め、ピケにより武蔵野市のごみ搬入を阻止
- 1973年(S48年) 「武蔵野市内にごみ処理工場を設ける方向で努力する。」と市長が言及し、ピケが解除される。（市内建設へ市民の協力を求める。）

⇒用地選定の検討

市民プール、市営グラウンド、都立中央公園、都立小金井公園を候補地として、各候補地の住民代表、一般市民、専門家で構成される委員により「より良い場所へ、より良い施設を」を柱に、様々な角度から白熱した議論を重ねながら検討が進められる。

「武蔵野市方式」と呼ばれる市民参加の議論の礎となった。

- 1980年(S55年) 建設用地の決定（市営グラウンド） ～周辺住民の苦渋の決断で了承～
- 1981年(S56年) 「クリーンセンター・まちづくり委員会」発足
- ・どのような施設がよいか、周辺住民代表も含めて検討
 - ・環境アセスメント、建設仕様、排ガス基準、周辺土地利用、操業協定、運営協議会の設置などを検討
- 1984年(S59年) 旧クリーンセンター竣工 稼働開始（～H28まで32年間）
- 「武蔵野クリーンセンター運営協議会」発足

2. 施設及び事業の概要 (1)施設設置の経緯

平成17年度 旧武蔵野クリーンセンター精密機能診断実施

主要設備の耐用年数から建替え又は大規模改修の必要性が報告された。施設を運営しながら大規模改修（更新）は極めて困難で、改修費用も多額になることから、建替えが有利との見解

平成20年度 (仮称) 武蔵野クリーンセンター施設基本構想

初代施設の建設経緯等を踏まえ、施設建替えに向けた基本的な考え方をまとめた。

平成20～21年度 新施設まちづくり検討委員会

建設用地選定、新施設の在り方、周辺地域のまちづくり等を検討

平成22年度 新施設基本計画策定委員会

新施設の基本仕様（規模、公害防止基準、処理方法、煙突高さ、アセス項目、事業手法）を検討
平成23年7月に住民説明会及びパブコメを経て「新施設基本計画（基本仕様）」を策定

平成22～31年度 新施設・周辺整備協議会（第1～4期）

新施設に備えるべき機能・周辺まちづくり・建築デザイン・エネルギー供給方針などを検討
「エコプラザ（仮称）事業のあり方中間まとめ」を取りまとめた。



平成28～30年度 武蔵野市エコプラザ（仮称）検討市民会議

エコプラザ（仮称）の在り方について全市的な視点で議論された。目指す方向性を具体化し、
「武蔵野市エコプラザ（仮称）検討市民会議 検討のまとめ」を取りまとめた。

平成30年11月 「武蔵野市エコプラザ（仮称）の整備に向けた市の基本的な考え方」公表

平成31年3月 「武蔵野市エコプラザ（仮称）管理運営方針」公表

令和2年11月 むさしのエコreゾート開館

2. 施設及び事業の概要

(2) 管理運営方針と運営会議の経過

2. 施設及び事業の概要 (2)管理運営方針と運営会議の経過

武蔵野市エコプラザ（仮称）管理運営方針（P.4）「管理運営に関する基本的な方針」

①市民参加型施設の実現

（前略）本施設では、こうしたごみと市民参加の歴史や議論、成果、関わった方々の思いなどを共有するとともに、市民自治を実践してきた本市ならではの施設として、市民や市民団体、企業、市など異なる主体がゆるやかにつながり、多様な環境啓発の担い手・主体として活躍できるように支援していく市民参加型施設の実現を目指す。

②進化し続け、磨かれていく施設

本施設は、初めから完成形とするものではない。市民が日々刻々と変化する環境問題に向き合い、自ら学び、行動することによって進化し続け、磨かれていく施設である。時代の変化に対応し、次々に起こる環境問題に対処できるように、テーマ自体も検討していく過程の中で変わっていくことができる。多様な主体と共に学び、施設の価値や目標を共に作り、共有し、成長し続け、少しずつ磨かれていく施設であることを重要視しなければならない。

③市の環境政策の実施、他分野事業などとの連携

本施設では、市民参加型施設の実現を目指すとともに、市の環境政策に沿った事業を実施・展開していく。また、環境分野の事業に限らず、市や財政援助出資団体などが行う子どもや子育て、自然体験、文化、教育、福祉、生涯教育など様々な分野の事業を、環境を切り口にして連携・実施することで、より多くの市民に環境の大切さに触れてもらうことができるように仕掛けていく。（後略）

④安全・安心かつ効率的な施設の運営

本施設は、環境学習や環境啓発の拠点として「子どもたちに未来をつなぐ」ことをコンセプトとして掲げており、（中略）安全・安心への配慮が必要である。また、（中略）市の財政状況を踏まえた効率的・効果的な管理運営を行っていく必要がある。

2. 施設及び事業の概要 (2) 管理運営方針と運営会議の経過

第1期、第2期の環境啓発施設運営会議 (主な報告事項等)

第1期	第1回	R1.8	会議設置/委員長・副委員長挨拶/会議実施要領(案)/エコプラザ(仮称)概要/エコプラザ(仮称)事業進捗
	第2回	R2.1	工事進捗/連携会議進捗/プレ事業環境の学校/プレ事業発信ツール検討/周知事業/環境フェスタ・エコマルシェ等
	第3回	R2.6	会議名称変更/施設名称決定/工事進捗/R1事業報告/連携会議実施/R2主な事業
	第4回	R2.7	R2事業実施/サポーター制度
	第5回	R2.9	連携会議実施/環境の学校PRPJ/環境啓発補助募集/環境フェスタ/キャラクタ愛称報告/サポーター制度/設置条例
	第6回	R2.10	開館に向けたオンライン会議(施設紹介、開館)/施設内の情報発信/11月8日配信イベント/開館式典・内覧会実施/キャラクタ愛称/環境の学校/環境啓発補助/自由来館の利用ルール/プレサポーター
	第7回	R2.12	開館式典・内覧会/開館状況/環境フェスタ実施/「トリセツ」(委員提案)/施設評価方法/庁内連携推進会議設置/運営体制
	第8回	R3.3	開館状況/施設評価/施設貸出/サポーター制度/事業計画/交差点の標識名称
	第9回	R3.5	サポーター制度/施設貸出/施設評価/連携会議/開館状況/事業実施
	第10回	R3.6	施設貸出/施設評価/環境展/環境フェスタ/環境啓発補助/ひろば事業
第2期	第11回	R3.7	施設貸出/食品ロス削減取組/施設評価アンケート/環境フェスタ/環境展/環境啓発補助/環境の学校/市関連事業
	第12回	R3.9	食品ロス削減取組/コロナワクチン会場使用/環境フェスタ実施/環境の学校・GreenPJ実施/緑のカーテン実施
	第13回	R4.1	R4事業計画/コロナワクチン会場使用/連携会議/環境フェスタ実施/エコ・チャレンジの開催
	第14回	R4.3	R3事業評価/エコ・チャレンジ報告/環境の学校及びGreenPJ報告/環境の学校PRPJ報告/気候市民会議開催
	第15回	R4.5	施設貸出/事業実施等/サポーター登録/R3市政アンケート調査
	第16回	R4.8	事業報告(環境月間、副読本配布、環境フェスタinSUMMER、環境フェスタ他市民等との接点、環境の学校、気候市民会議、五市共同事業)/施設運用(地域防災計画修正/施設予約利用/コロナ影響)/R4後期事業/市関連事業(あったかまつり)
	第17回	R5.2	R5事業計画/五市共同事業報告/気候市民会議報告/WS(冬版)/環境フェスタ/エコ・チャレンジ実施/施設視察
	第18回	R5.3	R5事業計画/環境フェスタ、エコ・チャレンジ報告/副読本改訂/施設視察
	第19回	R5.6	施設予約利用の運用/施設来館及び事業等/事業進捗(環境展、緑のカーテンレポーター募集、WS(夏版))

2. 施設及び事業の概要 (2)管理運営方針と運営会議の経過

(主な事項)

○市民参加の仕組みと運営

- ・ サポーター制度
- ・ 連携会議
- ・ 施設予約利用

○環境啓発事業の立ち上げ

- ・ 各種啓発事業の立ち上げ
- ・ 各種啓発事業の事前周知と結果報告
- ・ 施設評価方法及び評価

○環境政策及び関連事業等の報告

- ・ 気候市民会議
- ・ コロナワクチン接種会場使用
- ・ 災害時の施設使用
- ・ 食品ロス施設使用
- ・ 地域及び他分野等連携事業

(あったかまつり、農産物品評会、桜祭り、四中演奏会、五市共同事業ほか)

2. 施設及び事業の概要

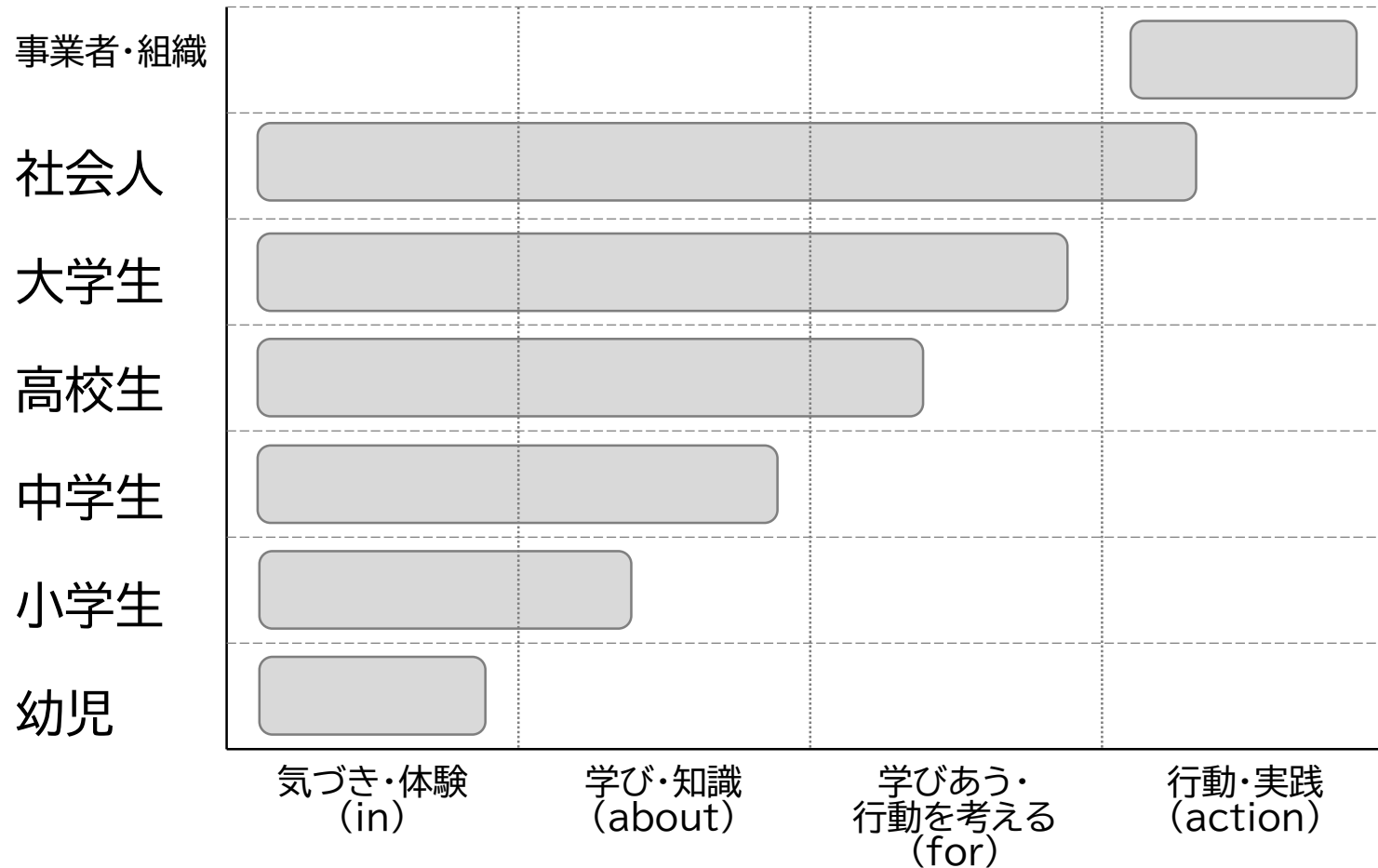
(3) 環境啓発事業等の概要

2. 施設及び事業の概要 (3) 環境啓発事業等の概要

名称	対象・規模	概要
◆イベント(1日間程度)		
むさしの環境フェスタ	子ども・子育て世代、地域住民 5,700人/日程度	市民啓発とともに、市民団体等の活動発表や交流を図る。R5年度は27団体が出展
エコチャレンジ(講演会含む)	各種環境啓発事業の参加者 50~2,000人/日程度	連続講座参加者やゼロパートナー認定事業者等が一堂に会し情報交換、交流する。
◆連続講座(5日間程度)		
環境の学校	15歳以上 10人程度	サポーター参加者を募るため、環境全般から市内地域の環境問題について学ぶ連続講座
環境の学校youthプロジェクト	高校生・大学生 10人程度	高校生・大学生が環境問題、社会課題の解決に取り組む連続講座
◆ワークショップ(1か月程度)		
夏、冬、春のワークショップ	子ども・子育て世代 200~400人/月程度	年3回、1か月程度の期間を設定し、20件程度のワークショップ・講座を実施。市民団体の活動の場にもなっている。
◆1階運営、自由来館対応(開館日、1年間)		
ものづくり工房	子ども・子育て世代 5,000人/月程度	常設のワークスペース。廃材利用し自由に工作ができる。来館者の大半を占めている。受付及び安全管理
フリースペースの展示	市民全般 50~100人/月程度	イベント等で作成したパネル等の常設展示
◆その他		
環境展	市民全般 50~100人/月程度	環境月間(6月)に合わせて、国の環境施策などについて周知するためのパネル展示等
緑のカーテン	市民全般 200~250人程度	レポーターを募集。レポーターにはゴーヤ苗を配布し、生育記録等のレポートを提出してもらう。
施設予約利用	個人、団体、事業者等 30~40件/年程度(見込み)	市民団体による啓発講座等を想定したが、会議利用などが多い。
見学、視察対応	小学校見学15件、中学体験5件 その他視察等30~40件程度	小学校見学は1校が2~3回に分けて来館。1回あたり半日程度 海外からの視察や行政視察も多い。
情報発信		日常的なSNS発信のほか、イベントでは市報、チラシ、市HP、市SNS、エコリゾHP、エコリゾSNS、申込みフォームの作成、副読本作成など
市政策との連動事業(気候市民会議等)		

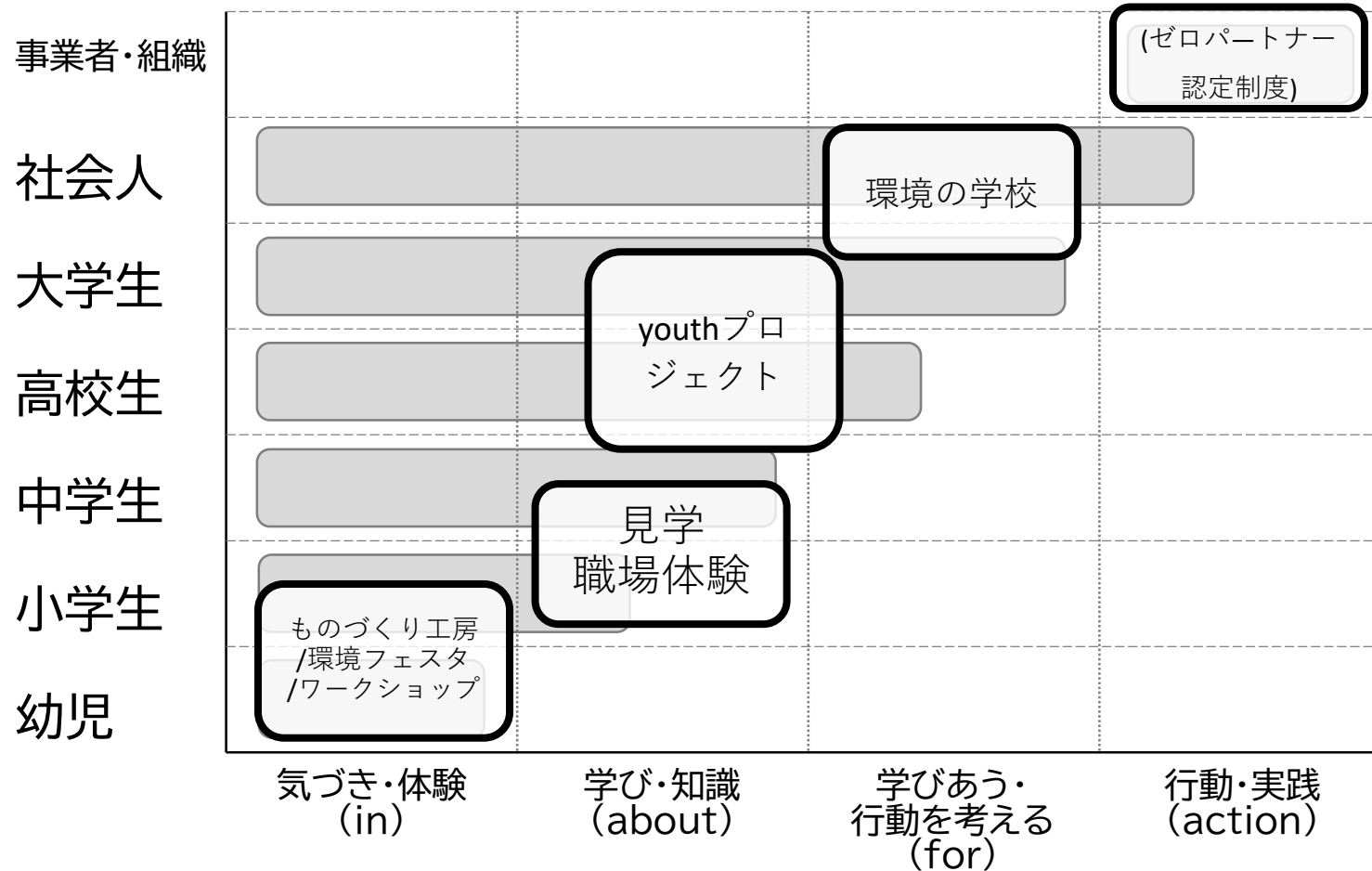
2. 施設及び事業の概要 (3) 環境啓発事業等の概要

年齢層と啓発段階の対応のイメージ



2. 施設及び事業の概要 (3) 環境啓発事業等の概要

年齢層と啓発段階の対応のイメージ



3. 意見交換事項の概要

3. 意見交換事項の概要

令和4年度 環境の学校（連続講座）参加状況

講座内容

day
1

令和4年 **7月16日** (土)
14:00 - 16:00



私たちの暮らしとSDGs

最近よく耳にする「SDGs」。参加者のみなさんと語り合う対話型ワークショップを通じて、私たちの暮らしとSDGsのつながりについて考えます。

講師：井澤 友郭さん
(こども国連環境会議推進協会 事務局長)



公開講座

day
2

令和4年 **9月3日** (土)
14:00 - 16:00

武蔵野市の環境を知る —クリーンセンター見学会

受講生同士がつながり、武蔵野クリーンセンターの見学や解説などを通じて、私たちの住んでいる地元・武蔵野市の環境の特徴を知るキックオフイベントです。

進行：飯田 貴也さん
(NPO法人新宿環境活動ネット 代表理事)



オリエンテーション

※画像はイメージです。

day
3

令和4年 **10月29日** (土)
14:00 - 16:00

日常を変えて彩る、 障がい×アートの可能性

アートを切り口にした障がい者支援活動の実践事例を学び、実際にアップサイクル工作を体験しながら、多様性を活かした元気でカラフルな社会について考えます。

講師：土橋 輝明さん
(社会福祉法人武蔵野「つむぐと」)



環境と社会

day
4

令和4年 **11月12日** (土)
13:30 - 16:30 (予定)

武蔵野市の水とみどり

フィールドワーク(まち歩き)を通じて、武蔵野市の水やみどりについて様々な角度から学び、まちの歴史や魅力、地域や地球との新たな向き合い方を探ります。

講師：武蔵野市「水の学校サポーターズ・サロン」



環境と地域

3. 意見交換事項の概要

令和4年度 環境の学校（連続講座）参加状況

day
5

令和4年 **12月10日** (土)
14:00 - 16:00

環境と経済

企業が目指す 「サステナビリティ」

武蔵野市で環境や社会、人にやさしい取り組みに挑戦されている企業の事例を通じて、私たちができる「サステナビリティ」な取り組みは何かを考えます。

講師: 千葉 朗子さん
(丸井吉祥寺店 店長)



day
6

令和5年 **1月14日** (土)
14:00 - 16:00

リフレクション

持続可能な未来へ! 学びやアイデアを形に

連続講座で得た学びや気づき、アイデアなどを整理し、「持続可能な未来」をつくるために地域や生活の中でできる自分たちの取り組み、発信していきたいことなどを話し合います。

進行: 飯田 貴也さん
(NPO法人新宿環境活動ネット 代表理事)



day
7

令和5年 **3月** (予定)

まとめ&発信

第2回 むさしのエコ・チャレンジ

「むさしのエコreゾート」の各種事業の参加者や武蔵野市内で環境活動を実践しているみなさんとともに、学んだことやそれぞれの想いなどを共有し、ふくらませ、楽しく交流を深める環境イベントです。イベント内で本講座の修了式も行う予定です。



お申し込みにあたって

- 都合により、プログラム内容が一部変更になる場合があります。
- 新型コロナウイルス感染症の状況により、ZoomやYouTubeを活用したオンライン開催に変更する可能性があります。その場合、参加に必要なPCなどの接続端末やインターネット環境は各自でご準備いただきます。
- 市の広報誌やWebサイトなどに、講座の写真や動画を掲載させていただく場合がございます。掲載を希望されない場合は、お申込時に担当者までお申し出ください。



お問い合わせ

武蔵野市環境部 環境政策課 環境啓発施設係
〒180-0012 武蔵野市緑町3-1-5(むさしのエコreゾート)
TEL:0422-60-1945 FAX:0422-51-5590

最新情報を
発信中!



3. 意見交換事項の概要

令和4年度 PRプロジェクト（高校性・大学生向け連続講座）参加状況

8月27日(土) PR・編集のキホン(スイベルアンドノット・けやき出版)

9月 コンポスト作り(グリーンむさしのを推進する会)

10月 ゲストトーク (城達也さん・池上慶行さん)

11月 フリーペーパー編集講座(けやき出版)

12月 イベント企画会議・編集会議(スイベルアンドノット・けやき出版)

1月 ミニイベント・企画展@キラリナ京王吉祥寺

2月 フリーペーパー制作

3月 フリーペーパー完成・むさしのエコチャレンジ(活動発表)

3. 意見交換事項の概要

◆中高大学生向けの連続講座等のアプローチについて

- ニーズやアプローチ方法のポイント

◆大学生から大人向けの連続講座等のアプローチについて

- ニーズやアプローチ方法のポイント

◆ものづくり工房及びフリースペース運用について

- フリースペースの展示以外の運用
- ものづくり工房における まちとのつながり

3. 意見交換事項の概要

